

- ・2023・2024年度は専門学校又は大学の栄養士課程の学習。うち1人は大学院博士課程で博士号取得へ（栄養士課程は2年間の学が必要）

活動フェーズ2；ネパール政府へ「栄養士の国家資格設置の必要」の提言

- ・トリブヴァン大学栄養学部との連携を模索
- ・ネパール専門学校設立へのコンセプトとシステムづくり

活動フェーズ3；専門学校；国家資格の栄養士養成コース 開講

以上の流れを描いて、日本留学の事業を2022年度からスタートしました。

ネパール人留学生二人を紹介；ルビー バッタライさん（31）、レジマ タパマガルさん（24）

*当NPO法人としては、留学生が勉学に集中できるよう、日本での生活がスムーズに運ばれるように生活費支援したいと思う。

■ ネパール栄養士日本留学支援活動

目的；当NPO法人のヨード補給活動の次の段階として、ネパールでの栄養教育の基盤づくりにネパール栄養学院（仮称）の設立を前提に、そのコアスタッフになる栄養士の育成が急務。そのためアジア協会アジア友の会と協働し、日本留学生事業を行う。

来日予定者 3人

うち2人が4月より来日。右より ルビー バッタライ(31) レジマ タパ マガル (24)

2022年度留学先 京都 YMCA 国際福祉専門学校日本語科

住所 京都府八幡市

支援 住居費および生活費一部援助



■ ネパール留学生の日本での抱負

●レジマ・タパ・マガルさん

私はこの3月までネパールのアジア協会アジア友の会（JAFS）ネパール事務所のスタッフでした。活動した農村地区で気づいたことは、子どもの栄養失調と大人の栄養障害による肥満が非常に多いことです。原因は食事に関する知識が乏しいからです。残念でなりません。そこで栄養分野で活動したいという気持ちが強くなりました。

そのために、日本で栄養学を広く、深く学ぶ機会を得て、非常にハッピーと思っています。日本でしっかり学び帰国したら、栄養分野の人材を育成し、健康なライフスタイルを構築できるよう、栄養の重要性と知識や意識を教え伝える活動をしたい。

そのために栄養士資格を取得すると共に、生涯の知識となる日本語を身に着けたいとおもいます。

●ルビー・バッタライさん

こんにちは。私はネパールで既に栄養学の修士号をもっています。その学びの中で、人々の栄養状態を改善する必要性を強く感じています。今日のネパールの僻地では栄養教育が十分ではなく、またその上に栄養や健康を改善するための十分なシステムがありません。日本は平均寿命が世界ベスト5の国の一つです。食生活と食科学の発展が関係していることは間違いのないと思います。日本での栄養士資格を取得するための学習内容を実際に学び、体験することで、これまで以上の理論的知識を得られるでしょう。それを私の国で応用して実行したいと思います。